

副読本を活用した授業実践（長町中学校）

【家族と考えよう，我が家の『防災の取組』 1， 2】

1 日 時 9月7日（金）6校時

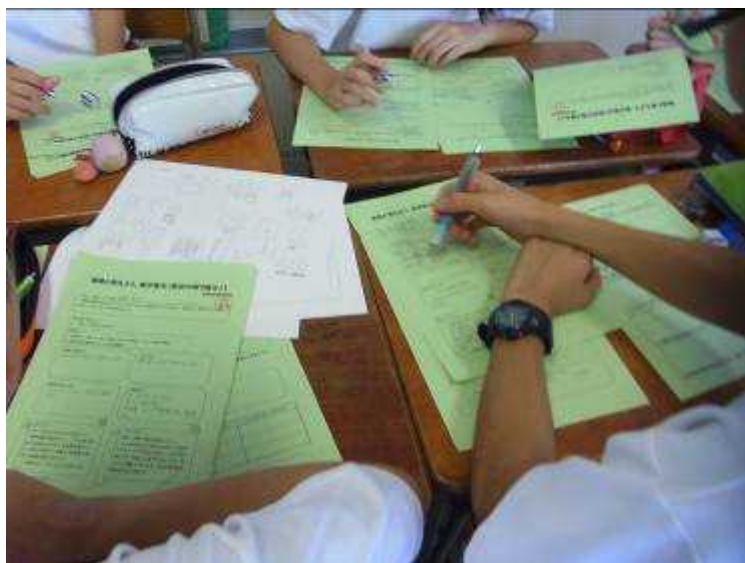
2 対 象 全生徒およびその家族

3 ねらい

- 家族で防災に関わる取組の機会を持ち，家庭での自助の力を高める。
- 学校で，各家庭での防災の取組みについての情報を共有し，様々な取組を知ることにより，家庭における防災への意識を高める。

4 内容

（1） 夏休みに「家族と考えよう，我が家の『防災の取組』 1， 2」を家族と一緒にやる。



夏休みの宿題として，家族と取り組んだ「家族と考えよう，我が家の『防災の取組』 1， 2」のワークシート。

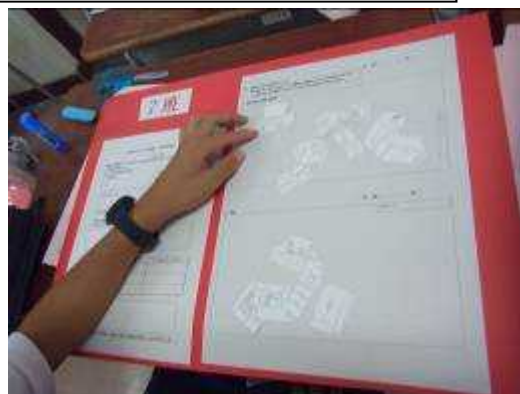
（2） 各学級で，生活班毎に各自の取組を発表して情報を共有し，まとめる。それをもとに安全な部屋の間取りについて考え班のイメージをまとめる。

まとめたものを発表し，学級全体で家庭での様々な防災の取組を共有する。



ワークシートをもとに，生活班で各自の家庭での取組を発表し，取り組んだ内容を共有する。

居間や寝室の安全な家具等の配置について考える。
ワークのまとめと一緒に廊下に掲示。



（3） まとめたものを，廊下に掲示し，学年の生徒間や，学校を訪れた保護者等での情報の共有を図る。

家族と考えよう、我が家の「防災の取組」1

仙台市立長町中学校

年 組()名前

家庭で地震が起きた時、どのようにして自分や家族の命を守りますか。普段から、家族みんなで考えておき、「いざ」という時に備えましょう。

1 家で揺れを感じたら…

(1) どのように身を守りますか？

【基本は…】

- 1 普段から「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所の確認！
- 2 身の安全を確保したら、火の元を確認！

【食事の準備中】

【入浴中】

【居間で団らん中】

【就寝中】

(トピック1)

「『21分の3』って知っていますか？」

阪神淡路大震災(H7 1. 17)以降に起きた負傷者50人以上の地震の数『21』と、生徒が学校にいる曜日・時間帯に発生した地震の数『3』です。※

この数字から、どんなことを考えますか？

※ 気象庁のデータより

(トピック2)

「寝ている時に揺れを感じたら…」

とっさの時はうつ伏せになるか、仰向けになるか？うつ伏せになると、上から物が落ちてきてもはって逃げられるけれど、仰向けでは難しいそうです。(太白消防署の職員の方のお話より)

シートは1, 2とも2枚ずつ。2枚目には、家族の誰と一緒に取り組んだかを記入する欄がある。ほとんどの生徒が家族と一緒に取り組むことができた。